

リアルとヴァーチャルをつなぐ 新たなメディアを創造する

キーワード メディアデザイン/視覚情報デザイン/空間メディア

研究 概要

ICTを活かし豊かな地域文化を創出し、付加価値を創るためにデザイン力が求められています。

出原研究室では、CG、VR/MR/ARなどのリアルとヴァーチャルをつなぐメディア技術を活用し、人・街・文化をつなぐ感動コミュニケーションをデザインし、実践的な開発を行います。

また、同様のxR技術、遠隔通信技術、さらにAI(機械学習)を組み合わせ、医学系実技学習のための遠隔授業支援システムを開発も行っています。

今後の 展開や メッセージ

これまでの産官学連携研究の実績を踏まえて、xR技術を活かした研究に取り組んでいきたいと考えています。

研究者 情報



研究者情報URL

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/AECA.html>
<https://researchmap.jp/read0201738>

出原 立子 教授・博士(芸術工学)

情報フロンティア学部 メディア情報学科
所属研究所: 感動デザイン工学研究所(所長)、
KIT×KAJIMA 3D Printing Lab



図1

金沢駅「鼓門」

プロジェクションマッピング

金沢の新たな夜のにぎわい創出を目的とした、鑑賞型と参加型のプロジェクションマッピングの企画・開発を実施。

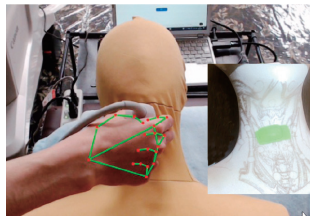


図2

超音波手技学習のための
遠隔授業学習支援システム

教師のプロープ手技をAI(機械学習)を用いて推定し、遠隔受講生側にてリアルタイムに仮想プロープとして描出し人体モデルに投影するシステムを開発。